

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 日本精密株式会社  
 コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡林 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田崎 政己  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 JQ

TEL 048-225-5311

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,626		56		68		6	
20年3月期第2四半期	1,535	5.6	106		108		212	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年3月期第2四半期	0.63	
20年3月期第2四半期	31.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年3月期第2四半期	2,726	780	28.6	72.82
20年3月期	2,798	706	24.7	71.04

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 781百万円 20年3月期 690百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年3月期		0.00		0.00	0.00
21年3月期					
21年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,346	34.3	232		187		109		10.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	10,924,000株	20年3月期	9,924,000株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	200,429株	20年3月期	200,000株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	10,259,437株	20年3月期第2四半期	6,724,000株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月23日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国際商品市況の高騰による原材料高、さらには米国のサブプライムローン問題に端を発した国際的な金融危機を背景に、設備投資や個人消費が伸び悩み、景気の減速傾向が強まる状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は2,626,804千円（前年同期は1,535,072千円）、売上総利益は704,475千円（前年同期は332,065千円）、営業利益は56,408千円（前年同期は営業損失106,267千円）、経常利益は68,660千円（前年同期は経常損失108,357千円）、当期純損失は6,507千円（前年同期は当期純損失212,106千円）となりました。なおその内、前年10月より子会社といたしました株式会社社村井の業績は、売上高は603,876千円、売上総利益は198,136千円、営業損失は53,763千円、経常損失は39,015千円、当期純損失は51,200千円となりました。

各事業のセグメント別の売上高は次のとおりです。

時計バンド事業は1,674,862千円となり、前年同期比552,149千円増加しました。その内、海外高級時計メーカーからは引き続き受注が好調で280,852千円の増加となりました。国内大手メーカーからは香港支店でのG-Shock、MT-G、Baby-G、G-msモデル等の金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの受注の増加と、ベトナム子会社での時計部品及びIP加工用金属バンドの受注増加があり、271,296千円の増加となりました。メガネフレーム事業は753,373千円となり、前年同期比518,733千円増加しました。その内、子会社である株式会社社村井による増加は603,876千円です。応用品事業は釣具部品の受注増加があり、売上高が198,568千円となり、前年同期比20,849千円増加しました。

「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期の金額及び増減額は、参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,726,211千円となり、前連結会計年度末と比べ72,187千円減少となりました。このうち、流動資産は、1,578,602千円となり、33,806千円増加しました。これは主に現預金の増加31,998千円、売上債権の増加45,784千円、棚卸資産の減少38,988千円などによるものです。固定資産は、1,147,609千円となり、105,993千円減少しました。これは主に機械装置及び運搬具の増加21,501千円、工具器具及び備品の増加17,704千円、のれんの減損による減少83,043千円、固定資産の減価償却による減少58,352千円などによるものです。

負債合計は1,930,336千円となり、161,898千円減少しました。これは主に仕入債務の増加94,164千円、短期借入金の減少128,128千円、社債の減少40,000千円、長期借入金の減少86,518千円などによるものです。

純資産は795,875千円となり、89,711千円増加しました。これは主に資本金の増加50,000千円、資本剰余金の増加50,000千円などによるものです。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下資金という）は、前連結会計年度と比較して、51,998千円増加し189,470千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は242,233千円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費58,352千円、のれんの減損損失83,043千円、棚卸資産の減少額38,987千円、仕入債務の増加額94,164千円等であります。支出の主な内訳は、売上債権の増加45,784千円等であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は29,092千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出44,938千円、貸付による支出3,300千円、定期預金預入による支出5,000千円、定期預金払戻による収入25,000千円等によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は158,883千円となりました。これは主に短期借入金の減少額128,127千円、長期借入金の返済による減少額86,518千円、社債償還による支出80,000千円、増資による収入100,000千円、社債発行による収入40,000千円等によるものです。

「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期増減額は、参考として記載しております。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、平成20年5月23日付にて公表致しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表致しました「特別損失の発生のお知らせと平成21年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)及び通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配布方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

法人税等並びに繰り延べ税金資産及び繰り延べ税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。なお、これによる損益への影響はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	194,470	162,472
受取手形及び売掛金	603,520	557,736
商品	128,457	193,959
製品	59,232	53,469
原材料	206,938	138,953
仕掛品	330,520	377,804
貯蔵品	2,950	2,900
その他	73,235	78,019
貸倒引当金	20,724	20,518
流動資産合計	1,578,602	1,544,796
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	224,216	230,516
機械装置及び運搬具(純額)	268,763	280,428
工具、器具及び備品(純額)	57,078	53,762
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	5,894	1,556
有形固定資産合計	679,567	689,878
<b>無形固定資産</b>		
のれん	-	87,657
借地権	150,402	153,574
その他	232	285
無形固定資産合計	150,635	241,517
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	43,046	47,830
敷金及び保証金	266,839	267,034
その他	53,675	56,268
貸倒引当金	46,155	48,926
投資その他の資産合計	317,406	322,206
固定資産合計	1,147,609	1,253,602
資産合計	2,726,211	2,798,398

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	563,844	442,873
短期借入金	708,843	836,971
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	84,036	128,536
賞与引当金	20,493	21,481
未払法人税等	6,365	8,347
営業外支払手形	-	26,806
その他	130,631	121,165
流動負債合計	1,654,214	1,726,182
固定負債		
社債	60,000	140,000
転換社債型新株予約権付社債	40,000	-
長期借入金	54,641	96,659
退職給付引当金	87,994	83,394
その他	33,487	45,998
固定負債合計	276,122	366,052
負債合計	1,930,336	2,092,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,420,876	1,370,876
資本剰余金	1,403,980	1,353,980
利益剰余金	2,007,223	2,000,716
自己株式	40,140	40,110
株主資本合計	777,492	684,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,382	6,725
評価・換算差額等合計	3,382	6,725
新株予約権	15,000	15,410
純資産合計	795,875	706,164
負債純資産合計	2,726,211	2,798,398

## (2)【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	2,626,804
売上原価	1,922,329
売上総利益	704,475
販売費及び一般管理費	648,066
営業利益	56,408
営業外収益	
受取利息	2,028
受取配当金	2,676
為替差益	11,985
金利スワップ評価益	6,075
雑収入	13,050
営業外収益合計	35,816
営業外費用	
支払利息	22,457
その他	1,107
営業外費用合計	23,564
経常利益	68,660
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,178
前期損益修正益	11,960
特別利益合計	15,139
特別損失	
固定資産除却損	102
減損損失	83,043
貸倒引当金繰入額	3,000
その他	74
特別損失	86,221
税金等調整前四半期純損失( )	2,421
法人税、住民税及び事業税	4,085
法人税等調整額	-
法人税等合計	4,085
少数株主利益	-
四半期純損失( )	6,507

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失( )	2,421
減価償却費	58,352
のれん償却額	4,613
減損損失	83,043
金利スワップ評価損益( は益)	6,075
貸倒引当金の増減額( は減少)	2,565
退職給付引当金の増減額( は減少)	4,599
受取利息及び受取配当金	4,705
支払利息	22,457
為替差損益( は益)	2,258
売上債権の増減額( は増加)	45,784
たな卸資産の増減額( は増加)	38,987
仕入債務の増減額( は減少)	94,164
賞与引当金の増減額( は減少)	988
その他	13,149
小計	<u>259,087</u>
利息及び配当金の受取額	2,897
利息の支払額	13,684
法人税等の支払額	6,067
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<u>242,233</u>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	5,000
定期預金の払戻による収入	25,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	44,938
投資有価証券の取得による支出	1,352
貸付けによる支出	3,300
貸付金の回収による収入	480
その他	19
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<u>29,092</u>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額( は減少)	128,127
長期借入金の返済による支出	86,518
社債の発行による収入	40,000
社債の償還による支出	80,000
設備関係割賦債務の返済による支出	4,207
株式の発行による収入	100,000
自己株式の取得による支出	30
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<u>158,883</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,258
<b>現金及び現金同等物の増減額( は減少)</b>	<u>51,998</u>
現金及び現金同等物の期首残高	137,472
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<u>189,470</u>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### (4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度に続き当第2四半期連結会計期間においても株式会社エムアンドエフシー及び株式会社ジエンコからの資金支援を受け、6月には100,000千円の第三者割当による資本増強、8月には40,000千円の転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達を行い、金融機関への返済及び社債の償還等有利子負債の削減を実行し財務体質の強化を図って参りました。その結果金融機関からの有利子負債は368,572千円まで縮小しました。当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは242,233千円の収入となりましたが、新たな借入が容易でない状況のなか、金融機関への有利子負債の返済及び社債償還見込額は、短期借入金の返済29,895千円、一年内返済予定長期借入金の返済84,036千円、1年内償還予定社債の償還140,000千円、合計金額253,931千円と見込まれ、手元流動性に比べて高水準にあります。

損益面では、営業利益は56,408千円(前年同期は営業損失106,267千円)、経常利益は68,660千円(前年同期は経常損失108,357千円)、当期純損失は6,507千円(前年同期は当期純損失212,106千円)と改善となりました。

このような状況下において、今後の資金調達如何によっては当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況の解消に向けて各部門の諸施策を完遂いたします。

時計バンド部門においては、海外高級時計メーカーからは新モデルへの切替による大幅な受注増加は一段落しましたが、原材料等生産コストのアップについても下期での価格転嫁が確定しております。引き続き新素材、新構造の高付加価値製品の企画提案を行い受注・利益の増加を図ります。国内時計メーカー向けは、市場で人気のG-Shock, MT-G, Baby-G, G-msモデル対応の高級金属バンドおよび金属樹脂コンポバンドの後続機種種の受注が好調です。生産拠点としての不安定さがさらに増幅した中国に対応して、子会社ベトナムの相対的優位性を活かした受注の増加を強力に推進しております。当社設立以来の取引関係にある中国国内の下請け先等に対し、新製品の開発・量産立上げ・生産管理等についての支援をさらに強力に推進します。これらにより大幅に増加した受注残高の生産達成、売上達成に全社をあげて取り組んでまいります。

メガネフレーム部門においては、株式会社村井の子会社化により本格的に営業基盤ができました。国内市場では中断しておりました上場企業数社との取引再開に目途が立ち、海外市場では新規取得ブランドでの販売が可能となり、売上増加を計画しております。既存部門では、OEM中心の営業とはいえ開発提案型営業への転換促進と当社オリジナリティの高いアルミニウム・プラスチック・チタニウムの複合したコンポタイプフレームの市場投入による高付加価値製品の受注増加と、コストダウンを図った低価格ラインの受注増を推進し操業度の向上を計画しております。

応用品部門においては、釣具部門は国内大手2社との取引が引き続き順調に推移しており、当社が持つコア技術を基にベトナム子会社での一貫生産の強みを活かし受注の増加を図ります。静電気除去器関連部門は新製品の開発による営業製品の品揃展開を行い、お得意先との連携を高め受注の増加を図ります。

新規事業として当社の得意とする精密金属部品加工技術と表面処理加工技術及びコスト競争力と当社の能力を最大に発揮できる携帯電話機器用外装部品の開発を推進し、市場への参入を図っております。

四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

「継続企業の前提に関する注記」における前年同期の金額は、参考として記載しております。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,674,862	753,373	198,568	2,626,804		2,626,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,674,862	753,373	198,568	2,626,804		2,626,804
営業利益又は営業損失( )	185,275	127,113	1,753	56,408		56,408

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 時計バンド事業 ..... チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品  
(2) メガネフレーム事業 ... チタニウム製フルリムフレーム、チタニウム製ナイロルフレーム、ツーポイントメガネフレーム及びメガネフレーム用部品  
(3) その他事業 ..... 釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、自動車用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

## 【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,850,516	776,287	2,626,804		2,626,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,631	827,814	878,445	(878,445)	
計	1,901,148	1,604,102	3,505,249	(878,445)	2,626,804
営業利益又は営業損失( )	71,496	127,929	56,433	25	56,408

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法 ..... 地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア ..... 中国・タイ

## 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	985,230	778,607	1,763,837
連結売上高			2,626,804
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	37.5	29.6	67.2

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 時計バンド事業 ..... チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品  
(2) メガネフレーム事業 ... チタニウム製フルリムフレーム、チタニウム製ナイロールフレーム、ツーポイントメガネフレーム及びメガネフレーム用部品  
(3) その他事業 ..... 釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、自動車用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年5月27日にSKS Trading USA, Incとの金銭消費貸借契約に基づき借入した債務100,000千円について、平成20年6月25日に金銭債権の債務の株式化(デット・エクイティ・スワップ)を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が50,000千円、資本準備金が50,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,420,876千円、資本剰余金が1,403,980千円となっております。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	1,535,072
売上原価	1,203,007
売上総利益	332,065
販売費及び一般管理費	438,332
営業損失	106,267
営業外収益	24,603
営業外費用	26,692
経常損失	108,357
特別損失	
投資有価証券売却損	100,000
特別損失合計	100,000
税金等調整前中間純損失	208,357
税金費用	3,831
少数株主損失	82
中間純損失	212,106

## (2) 中間連結キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

区分	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純損失	208,357
2 減価償却費	74,421
3 金利スワップ評価益	5,750
4 投資有価証券売却損	100,000
5 貸倒引当金の減少額	12,741
6 退職給付引当金の増加額	14,276
7 支払利息	23,648
8 為替差益	1,644
9 売上債権の増加額	24,746
10 たな卸資産の減少額	375
11 仕入債務の増加額	15,752
12 賞与引当金の増加額	3,301
13 立替金の減少額	82,504
14 営業外支払手形の減少額	275,345
15 敷金・保証金の増加	154,858
16 その他の減少額	24,343
小計	344,818
17 利息及び配当金の受取額	2,994
18 利息の支払額	19,932
19 法人税等の支払額	5,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金払戻による収入	10,000
2 有形及び無形固定資産の取得による支出	47,685
3 投資有価証券の取得による支出	101,275
4 貸付金等の回収による収入	125
5 貸付による支出	208,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	347,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 新株予約権の発行による収入	15,000
2 新株予約権有償償却による支出	1,100
3 短期借入金純増額	46,648
4 長期借入金の返済による支出	227,262
5 社債発行による収入	600,000
6 社債償還による支出	100,000
7 設備割賦未払金の返済による支出	16,152
8 配当金の支払額	218
財務活動によるキャッシュ・フロー	316,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	219
現金及び現金同等物の減少額	397,783
現金及び現金同等物の期首残高	552,697
現金及び現金同等物の中間期末残高	154,913

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,122,713	234,640	177,718	1,535,072		1,535,072
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,122,713	234,640	177,718	1,535,072		1,535,072
営業利益又は営業損失( )	5,625	88,494	23,399	106,267		106,267

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 時計バンド事業.....チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品  
(2) メガネフレーム事業.....チタニウム製フルリムフレーム、チタニウム製ナイロールフレーム、ツーポイントメガネフレーム及びメガネフレーム用部品  
(3) その他事業.....釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、自動車用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工、消臭剤

## 【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,021,673	513,398	1,535,072		1,535,072
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,732	617,406	660,139	(660,139)	
計	1,064,406	1,130,805	2,195,211	(660,139)	1,535,072
営業利益又は営業損失( )	101,485	4,791	106,277	10	106,267

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(10千円)は、たな卸資産の未実現利益の消去によるものであります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。  
(2) 各区分に属する主な国又は地域  
アジア.....中国・タイ

## 【海外売上高】

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	742,934	470,697	1,213,631
連結売上高			1,535,072
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	48.4	30.7	79.1

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ.....スイス・ドイツ・フランス・スペイン

アジア.....中国・タイ

## 6. 生産及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)
時計バンド事業	1,148,075
メガネフレーム事業	163,537
その他事業	165,433
合計	1,477,044

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 金額は、販売価格によっております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
時計バンド事業	1,520,532	1,150,813
メガネフレーム事業	783,273	203,154
その他事業	213,023	76,009
合計	2,516,829	1,429,976

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)
時計バンド事業	1,674,862
メガネフレーム事業	753,373
その他事業	198,568
合計	2,626,804

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合。

相手先	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO.,LTD	811,241	30.89